

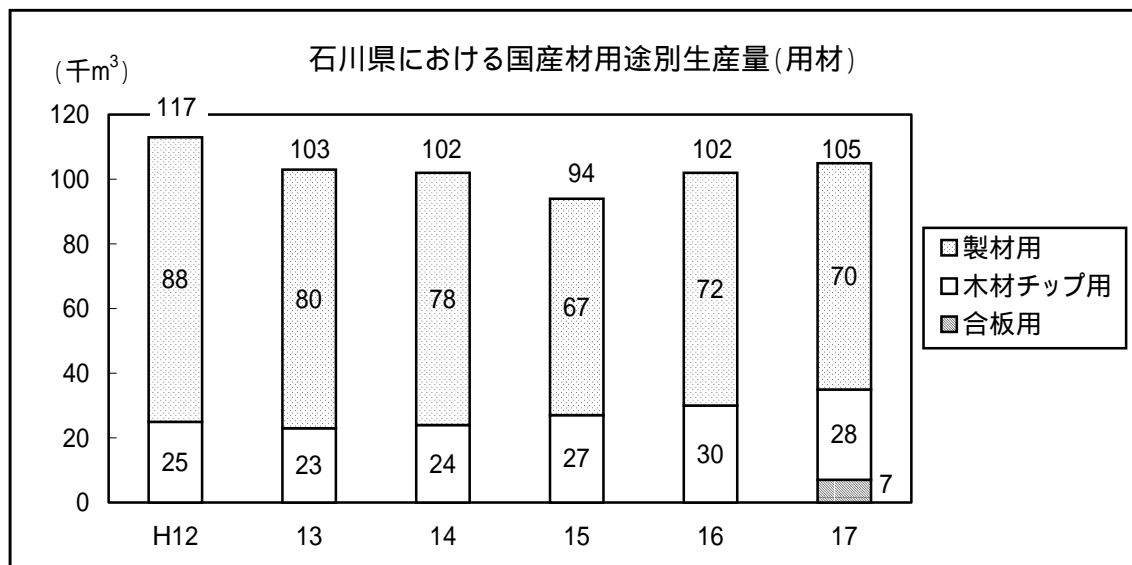
石川県における木材産業の概要

1 木材の需要と供給の現状

合板用木材生産を開始

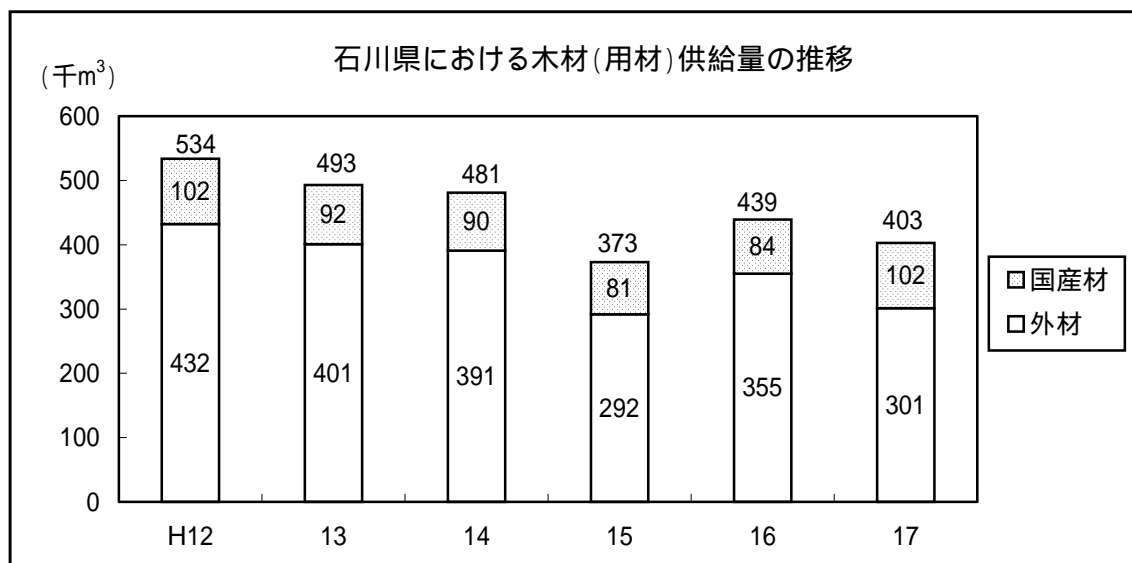
平成 17 年次の県内木材生産量の総数は、105 千 m³ (対前年 102.9%) であった。

用途別では、製材用が 70 千 m³(対前年 97.2%)、合板用が 7 千 m³、チップ用が 28 千 m³(対前年 93.3%) となった。



国産材供給割合が上昇

平成 17 年次の県内木材供給量の総数は 403 千 m³ であった。内訳は、国産材が 102 千 m³(対前年 121.4%)、外材が 301 千 m³(対前年 84.8%) となった。国産材供給率は、25.3% と大きく上昇した。



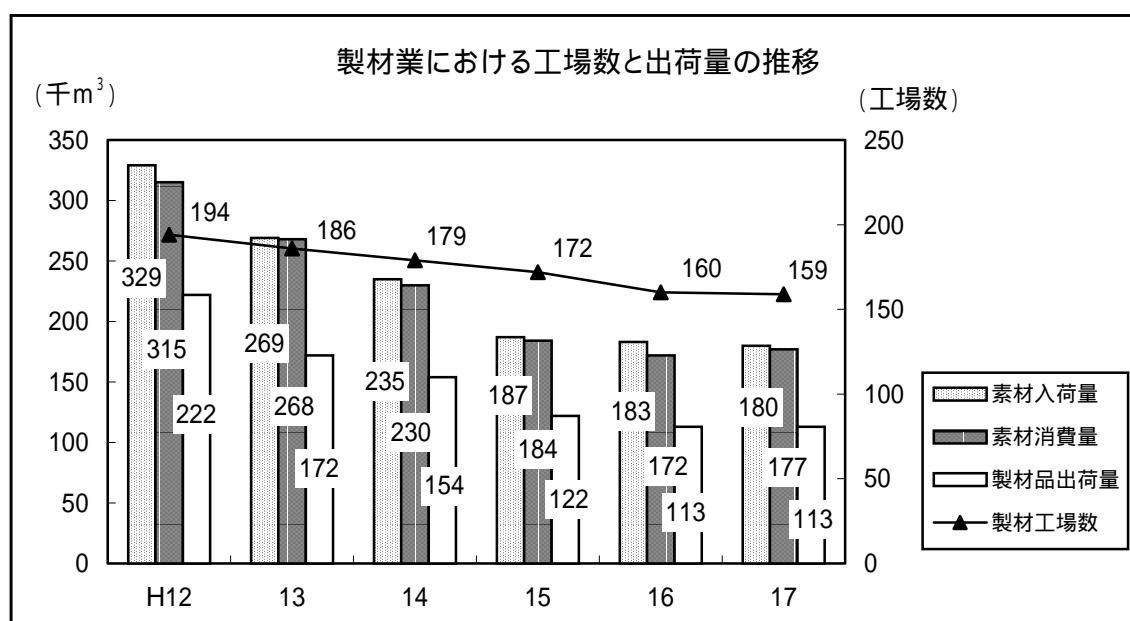
2 木材工業の現状

(1) 製材業

工場数・素材入荷量は微減、国産材入荷量は微増

平成 17 年次の県内製材工場数は、159 工場(対前年 1 工場減)、従業者数は 617 人(対前年 42 人減)となった。素材入荷量は、180 千 m³ (対前年 98.4%) であり、内訳は国産材 68 千 m³ (対前年 101.5%)、外材 112 千 m³ (対前年 96.6%) になった。素材消費量は、177 千 m³(対前年 102.9%) であり、製材品出荷量は、113 千 m³ (前年と同) であった。

また、動力の総出力数は、12,722kW(前年比 99.0%) であり、工場当たりの出力数は 80.0kW であった。



(2) 合板製造業

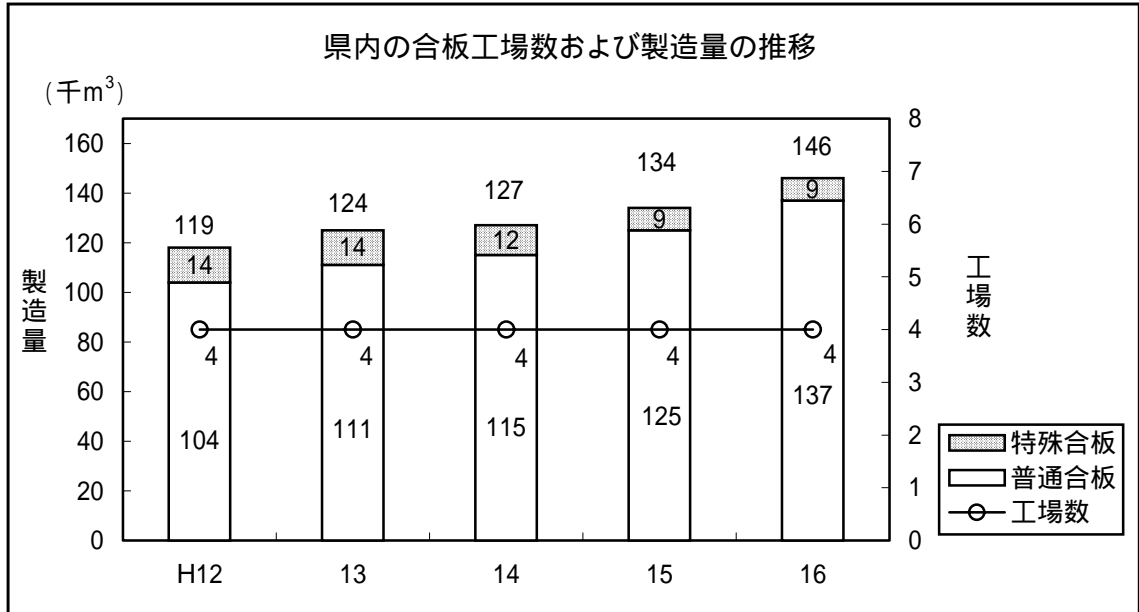
普通合板は、製造量・出荷量ともに増

県内の合板工場は、普通合板を製造している工場が 1 工場、特殊合板を製造している工場が 3 工場、併せて 4 工場がある。

平成 16 年次の県内の合板製造量は、普通合板が 137 千 m³ (対前年 109.8%)、特殊合板が 9 千 m³ (前年比 99.5%) であり、総量は 146 千 m³ (対前年 109.1%) であった。

県内の合板出荷量は、普通合板が 136 千 m³ (対前年 111.1%)、特殊合板が 9 千 m³ (対前年 88.4%) であり、総量は 145 千 m³ (対前年 109.4%) であった。

合板工場の従事者数は 221 人 (対前年 7 人減) であった。

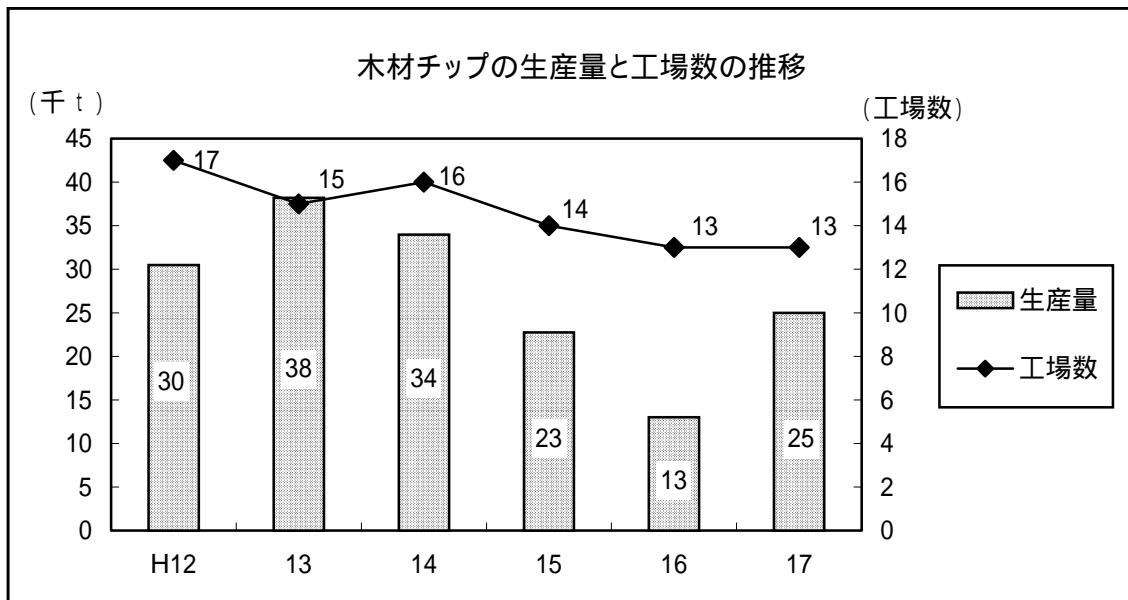


(3) 木材チップ工業

生産量は増

平成 17 年次の県内木材チップ生産量は、25 千 t (対前年 192.3%) となった。原材料入手区分別では、工場残材が 11 千 t (対前年 122.2%)、素材が 14 千 m³ (対前年 466.7%) となった。

工場数は 13 工場 (前年と同) であった。



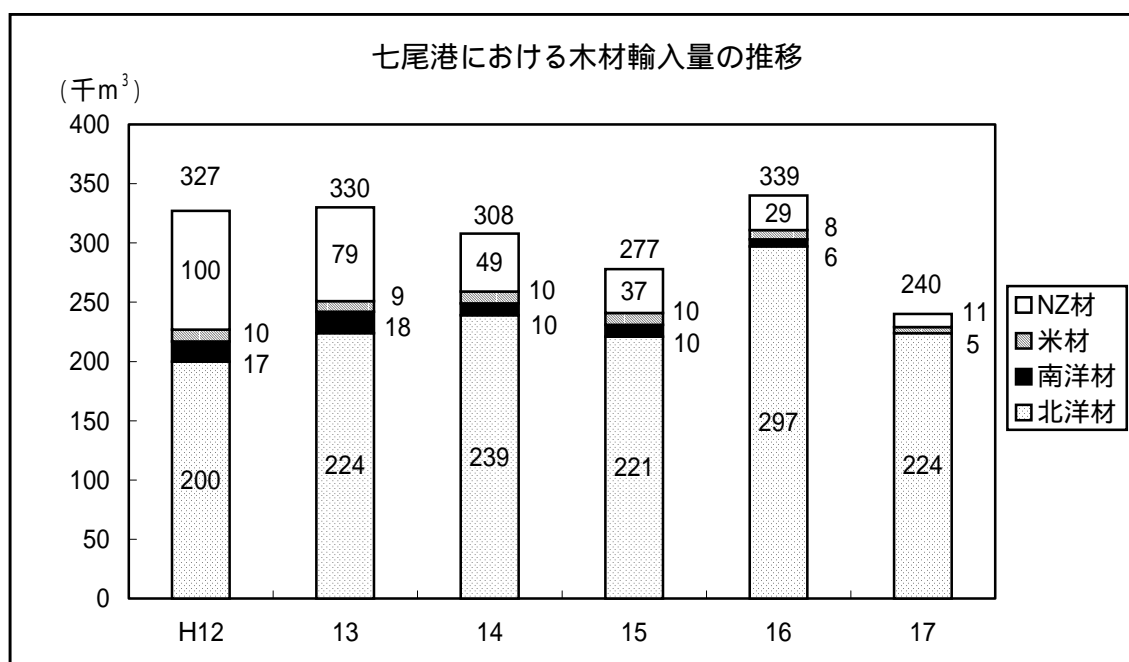
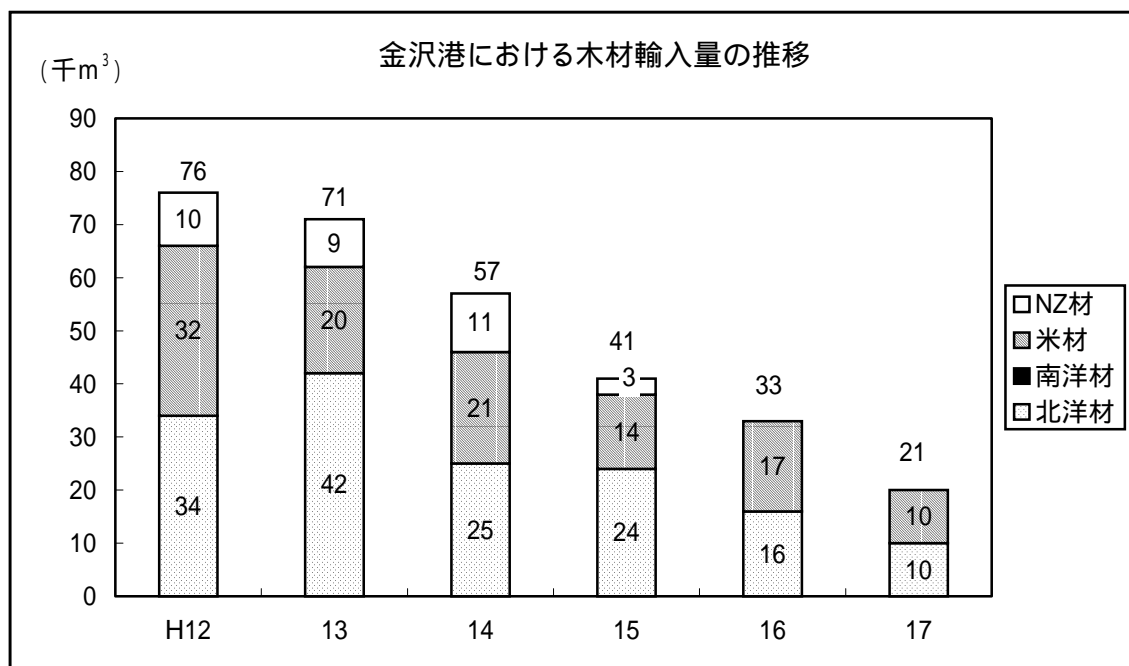
注：平成 12～15 年については、容積 (m³) を重量 (t) に換算した。なお換算には、林野庁が木材需給表作成に使用している換算率 (針葉樹：1 t = 2.2m³、広葉樹：1 t = 1.7m³) を用いた。

3 木材輸入の動向

北洋材・米材・NZ材は減、南洋材は輸入量なし

平成17年次の県内木材輸入総量は260,252m³(対前年70.1%)であった。内訳は、北洋材が233,735m³(対前年74.8%)、米材が15,558m³(対前年63.2%)、ニュージーランド材(NZ材)が10,959m³(対前年37.9%)であり、北洋材率は89.8%であった。

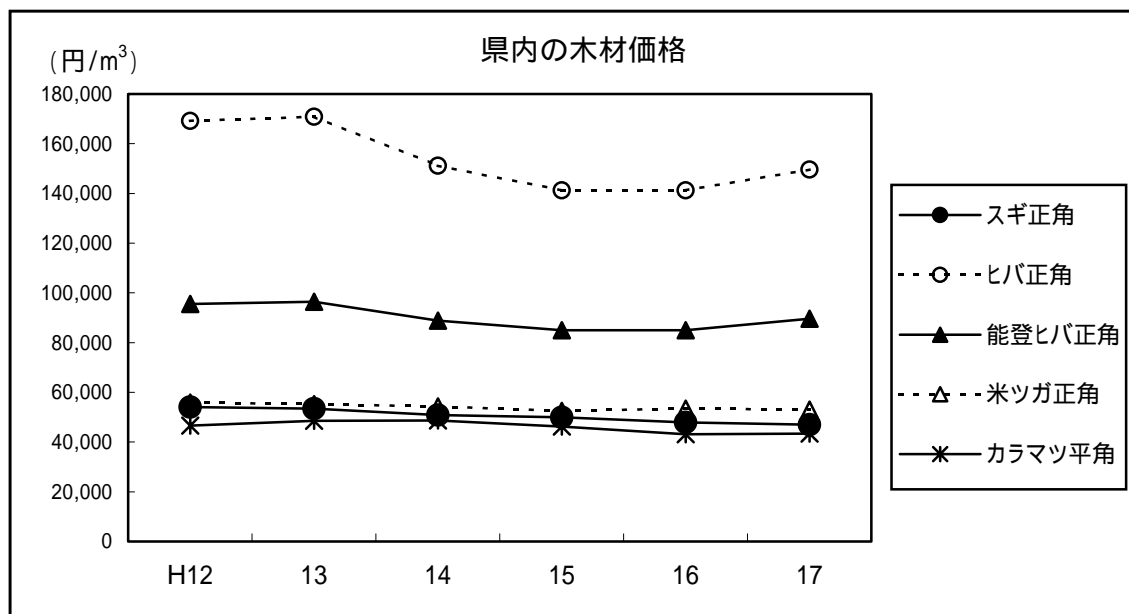
北洋材の内訳をみると、カラマツが164,395m³(構成比70.3%)、アカマツが37,697m³(構成比16.1%)、エゾマツが28,625m³(構成比12.2%)、パルプ材が3,018m³となった。



4 木材価格の動向

スギ製品価格が下降

平成 17 年次の県内の木材製品価格は、スギ正角は 47,000 円/m³(対前年 900 円安)、スギ正割は 42,100 円/m³(対前年 1,500 円安)、ヒバ正角は 149,600 円/m³(対前年 8,300 円高)、能登ヒバ正角は 89,600 円/m³(対前年 4,600 円高)となり、米ツガ正角は 53,000 円/m³(対前年 400 円安)、カラマツ平角は 43,400 円/m³(対前年 300 円高)となった。



5 住宅着工の推移

木造率が上昇

平成 17 年次の県内新設住宅着工数 8,909 戸(対前年 93.8%)のうち木造住宅は 6,219 戸(対前年 102.9%)となった。新設住宅着工数の木造率は 69.8%(対前年 109.7%)であった。

着工新設住宅の総床面積は 892 千m²(対前年 94.0%)で、1戸当たりの平均床面積は 100.1 m²(対前年 100.2%)であった。

